

イデックスオイルレポート ~For a week~

株式会社新出光

【NY原油 概況】

●14日のWTI原油は、前日比1.40ドル高の60.09ドルとなった。
ロシア当局の発表として、黒海に面するロシア南部の港湾都市ノボロシスクで14日未明にウクライナのドローン攻撃があり、船舶や石油貯蔵施設が被害を受け、周辺の湾港からのエネルギー輸出が停止したと報道。同報道によると、ノボロシスク港からの輸出は日量220万バレルで、これは世界供給の2%に相当するという。

●17日のWTI原油は、前日比0.18ドル安の59.91ドルとなった。
ロシアの黒海沿岸にある主要輸出港ノボロシスク港が16日、石油の積み込み作業を再開したと報じた。同港はウクライナ軍から攻撃を受け、2日間にわたり輸出を停止。世界の石油供給量の2%に相当する日量220万バレルに影響が出ていた。

●18日のWTI原油は、前日比0.83ドル高の60.74ドルとなった。
西側諸国によるロシアへの制裁がロシア産原油供給に影響を及ぼしているとの警戒感が引き続き買い材料視され、午後にかけてはプラス圏に切り返した。

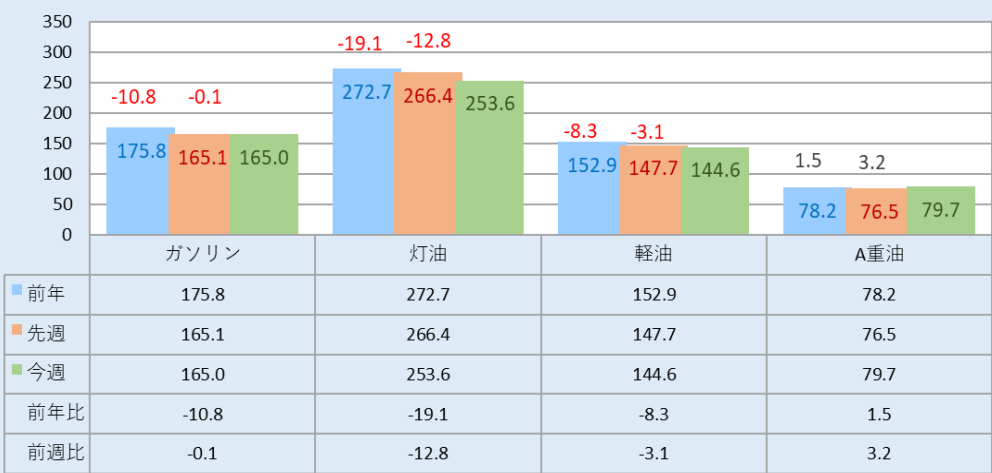
●19日のWTI原油は、前日比1.30ドル安の59.44ドルとなった。
米国とロシアがウクライナでの戦闘終結に向け、新たな計画案の協議を水面下で進めていると報じた。詳細は不明だが、28項目からなる内容で、米側は欧州諸国がウクライナへの説明に着手したという。

●20日のWTI原油は、前日比0.3ドル安の59.14ドルとなった。
ウクライナのゼレンスキー大統領は20日、同国を訪問中のドリスコル米陸軍長官と、ウクライナに侵攻を続けるロシアとの和平実現に向け協議を行い、戦闘を終結させる計画の要点について米国と取り組みを進める意向を示した。これをきっかけに、和平に向けた進展への期待が再燃。米制裁に伴いロシア石油大手2社から供給された石油の引き取り期限となる21日を前に、対ロ制裁の警戒感が幾分和らぐ面もあり、取引後半は一転して売りが優勢となった。

2025/11/21 12:00現在 WTI原油 58.20ドル 為替 1ドル 158.49円

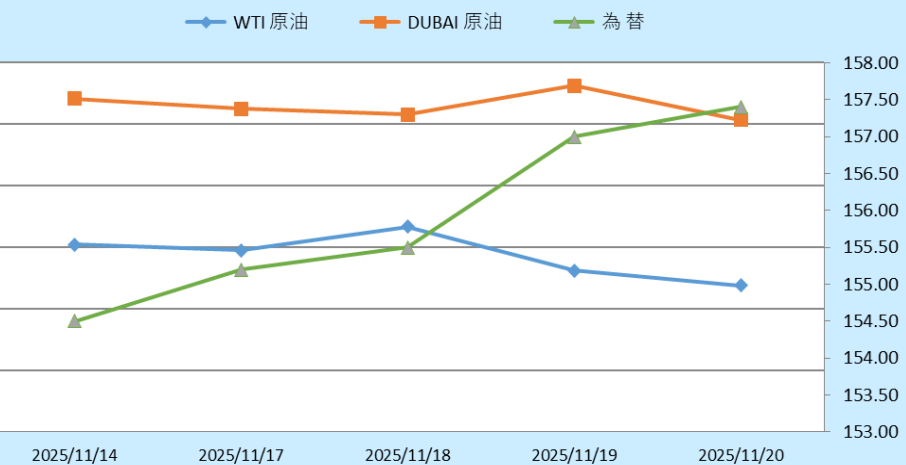
国内石油製品在庫 11月15日時点

単位/万KL



WTI・DUBAI / 為替 相関グラフ

単位/円



【次回価格変動予想】

11/27～12/3

【市況総括】

ガソリン	↓	-5.0 ～ -4.5
灯油	→	±0 ～ +0.5
軽油	↓	-2.1 ～ -1.6
A重油	→	±0 ～ +0.5
LSA	→	±0 ～ +0.5

※原油コスト「±0円～+0.5円」
※補助金
ガソリン「20.0円」前週比+5.0円、軽油「17.1」前週比+2.1
灯油/重油「5.0」前週比±0
※現時点での予測です。

《今週》今週の元売り仕切り改定は、3社ともに原油コストは「±0円」、補助金は、全油種「±0円」、都合、全油種「±0円」の改定となった。
《来週》次回の元売り改定は、原油コストは「±0円～+0.5円」、補助金はガソリン「+5.0円」軽油「+2.1円」灯油/重油「±0円」で、都合ガソリン「-5.0～-4.5円」軽油「-2.1～-1.6円」灯油/重油「±0～+0.5円」の改定予測となっている。

【次世代エネ コラム】

＜ 山梨のグリーン水素製造拠点 稼働＞

山梨県がサントリーホールディングスなど民間10社と共同で同県北杜市に建設していた国内最大規模のグリーン水素製造拠点が完成し、11日に稼働式典が開かれた。再生可能エネルギー由来の電力で製造した水素は、隣接するサントリーの天然水工場などで利用される。年間で最大1万6000トンの二酸化炭素(CO2)排出量を削減する能力があるという。

式典で長崎幸太郎知事は「グリーン水素の社会実装がいよいよ現実のステージに入った。ここから始まるのは世界を驚かせるエネルギー革命だ」と強調した。同拠点は「グリーン水素パーク白州」と命名された。

事業に参画するのはほかに東レ、東京電力ホールディングス、カナデビア、三浦工業など。新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)のグリーンイノベーション基金事業の一つで、事業費は約186億円。2026年末までシステムの信頼性や経済性向上などの知見とノウハウを蓄積し、商用展開につなげていく。